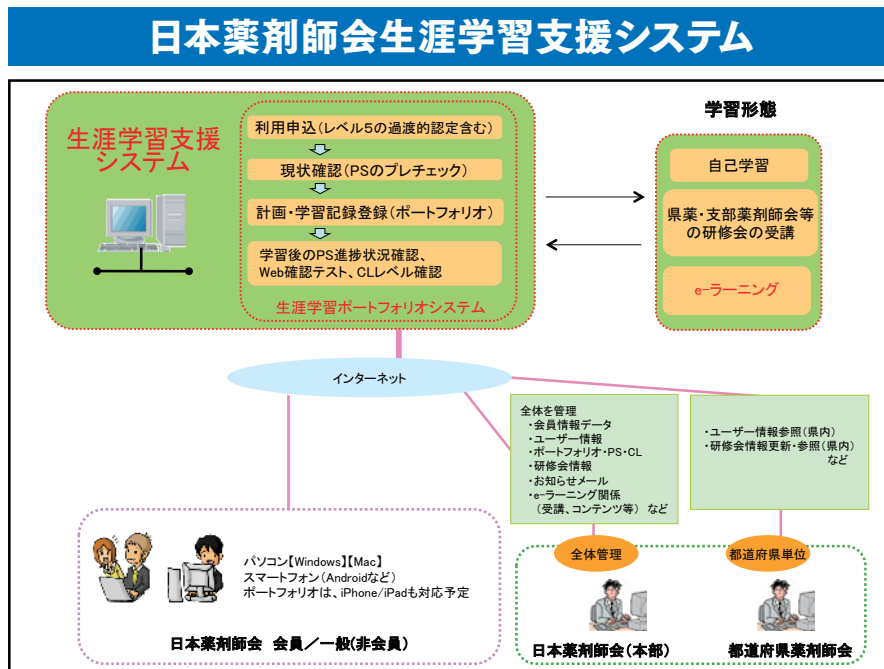


日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」4月よりスタート!!

—日本薬剤師会は生涯学習を応援します—

JPALS ジェイパルス
Japan Pharmaceutical Association life long Learning support System



はじめに

日本薬剤師会では、これまでも薬剤師の生涯学習を様々な角度から支援してきました。その理由として、近年の医療の高度化・複雑化に伴い、在宅医療、チーム医療等、薬剤師に求められる職能も次第に広がり、質の高さが問われるようになったことが挙げられます。医療は日進月歩であり、薬剤師にとって生涯学習は責務と言っても過言ではありません。患者・国民の医療に対するニーズが多様化する中、信頼され求められる薬剤師となるためには、一人ひとりが目標を定めて研鑽を積むことが必要です。本会ではそのような視点を軸に、ジェネラリストの養成を第一の目的として、薬剤師の生涯学習支援のための取り組みを進めてきました。そしてこの4月より、新たに構築した生涯学習支援システムをスタートさせます。本号では、その概要を紹介いたします。

薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード

本会は、本システム構築に先立ち、平成21年4月に「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード」(Professional Standard 以下PS)【表1】を公表しました。これまで提供されてきた多くの学習方法は、講義や講演を中心とした、どちらかと言えば受身型の講習会や研修会が中心であり、比較的継続性に乏しいという声もありました。

薬学生NEWS No.6 CONTENTS

日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」4月よりスタート……	1~5
世界の医療系学生が集結!!	
World Healthcare Students' Symposiumに行ってきました!! ……	6~7
「6年制課程卒業の薬剤師国家公務員」の初任給等が決定	
一日薬・日病薬が共同で記者会見 ……	8
「薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会」がカリキュラム改訂に向けた議論を本格化 ……	8

【表1】平成20年度版 薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード（一部抜粋、領域1：ヒューマニズム）

【1. ヒューマニズム(倫理)】

一般目標	No.	到達目標	難易度
1. 生命の尊厳を認識するために、医療人としての倫理観と責任感を身に付ける	1	医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識できる	1
	2	医療の担い手として、社会のニーズを把握できる	2
	3	医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる	2
	4	医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案できる	3
	5	医療倫理の歴史(ヘルシンキ宣言・ヒポクラテスの誓いなど)を概説できる	1
	6	医療にかかわる倫理的問題を列挙できる	1
	7	医療に関わる倫理的問題の概略と問題点を説明できる	2
	8	薬剤師倫理規定を概説できる	1
	9	薬剤師綱領を概説できる	1
	10	薬剤師に係わる倫理的問題について討議する	2
	11	医療法第1条の2を概説できる	1
	12	薬剤師法第1条について概説できる	1
	13	人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する	2
	14	環境に配慮する意義を考察し、討議する	2
	15	自らの体験を通して、生命の尊厳と医療のかかわりについて討議する	3
	16	救命救急に薬剤師が関わる意義を説明できる	3
	17	死にかかわる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)について討議する	3
	18	予防、治療、延命、QOLについて説明できる	3
	19	誕生にかかわる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明できる	4
	20	医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植、再生医療、難病治療など)に伴う生命観の変遷を概説できる	4
	21	医療にかかわる諸問題から、自ら課題を見だし、それを解決する能力を醸成する	4
2. 患者中心の医療を実現するために、チーム医療の一員としての基本的な知識・技能・態度を修得する	1	「薬剤師の接遇マニュアル」を概説できる	1
	2	「薬剤師の接遇マニュアル」に基づいて行動できる	2
	3	「対面話法例示集」を概説できる	1
	4	「対面話法例示集」に基づいて行動できる	2
	5	チームワークの重要性を例示して説明できる	1
	6	薬剤師の職能を認識し、必要に応じて他職種に助言などを求めるなどの処置ができる	2
	7	医療スタッフとのコミュニケーションで、お互いの情報共有と連携の重要性を討議する	2
	8	医療スタッフとのコミュニケーションで、お互いの情報共有と連携を実践できる	3
	9	他職種と連携を取り、協力的態度で役割を実践できる	3
	10	言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる	2
	11	相手の立場、文化、習慣が異なることを理解し、コミュニケーションのあり方に配慮できる	4
3. 患者および家族の心情を理解するために、薬剤師が担う行為の重要性を認識する	1	インフォームドコンセントの定義と必要性を説明できる	1
	2	ファーマシューティカルケアについて説明できる	1
	3	ファーマシューティカルケアに基づいて行動できる	2
	4	患者の心理状態を把握し、配慮できる	2
	5	相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応できる	3
	6	不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する	1
	7	ターミナルケアにおける薬剤師の役割について説明できる	2
	8	ホスピスなどの施設の意義について説明できる	2
	9	ターミナルケアにおける薬剤師の役割を実践できる	3
	10	ホスピスなどの施設で薬剤師の役割を実践できる	4
	11	疼痛緩和について説明できる	2
	12	疼痛緩和ケアについて実践できる	3
	13	末期患者の精神的ケアについて説明できる	2
	14	末期患者の精神的ケアについて実践できる	3
	15	認知症のケアについて説明できる	2
	16	認知症のケアについて実践できる	3
	17	対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる	2
	18	病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる	3
	19	患者および家族の心理状態を把握し、配慮できる	3
	20	患者やその家族の持つ価値観が多様であることを認識し、総合的に実践できる	4
	21	臨床心理学の必要性について説明できる	2
	22	交流分析の必要性について説明できる	2
	23	家族力学について理解し、実践できる	4
4. 患者が自分の疾患に正面から向き合い、治療に積極的に取り組めるようサポートするための知識・技能・態度を身に付ける	1	病名を宣告された患者や家族の心理状態について配慮できる	2
	2	簡易的なカウンセリングスキルについて説明できる	2
	3	患者やその家族の話を傾聴することができる	2
	4	患者やその家族が持つ精神的な問題点を把握することができる	3
	5	患者やその家族が、直面する問題に前向きに対処できるようサポートできる	4

そこで、より実効性があり、意欲やモチベーションを維持・高揚する生涯学習制度の構築には何が必要なのか、薬剤師とは何かをもう一度原点から見つめ直した結果、薬剤師が目指すべき目標を明確に示すことにあるとの考えに至り、その具体的な指標として考案したものがPSです。PSは、薬剤師が生涯に亘って学習すべき以下の5つの領域に基づいて構成してあり、それぞれの薬剤師の経験やこれまで習得してきた知識に依り、当然具備すべき、また期待される知識・技能・態度を指標とする目標を分類し整理してあります。別の言い方をすれば、スペシャリストの医師と患者をつなぐために、ジェネラリストとしての薬剤師がその職能を十二分に発揮できるように習得しておくべき学習目標をPSにまとめてあるとご理解ください。

PSの5つの領域

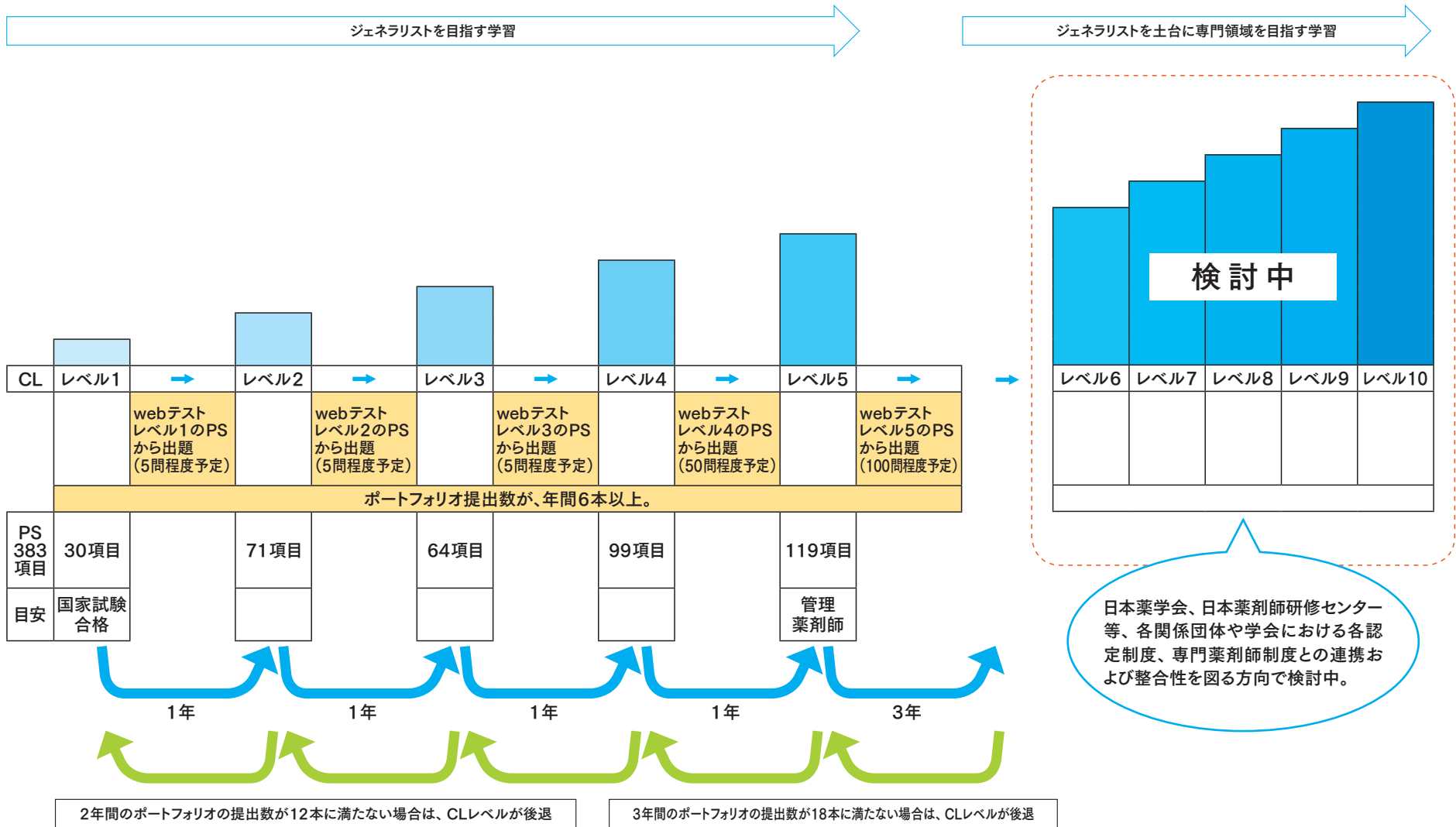
1. ヒューマニズム（倫理）
2. 医薬品の適正使用（安全性、経済性）
3. 地域住民の健康増進（薬物乱用防止、セルフメディケーション）
4. リスクマネジメント
5. 法律制度の遵守

日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」

前述の基本方針に基づき、本年4月、本会はWeb上の「日本薬剤師会生涯学習支援システム」(愛称「JPALS」)^{ジェイパルス}【1ページ目、上図】をスタートします。「ポートフォリオシステム」(学習記録システム)と「e-ラーニングシステム」の2つのシステムが利用可能となります。まもなく誕生する6年制卒業の薬剤師も含め、すべての薬剤師が迷うことなく生涯学習に取り組んでいただけるよう提供するものです。

システムの大きな柱「ポートフォリオシステム」は、前述のPSや、臨床ラダー（Clinical Ladder 以下CL）【図1】、継続的な専門能力開発（Continuing Professional Development 以下CPD）、英国で義務化されているポートフォリオ（portfolio）に基づいて構築しました。薬剤師自らがCPDのサイクルに則り、PSを指標として利用しながら、振り返り、計画し、実践し、CLに基づいて評価するという一連の流れの結果を、Web版ポートフォリオに記録することで、学習の進捗状況を把握でき、効率的に学習計画を立てることが出来ます。【図2、3、4】

もう一つのシステム「e-ラーニングシステム」は、「ポートフォリオシステム」の実践記録に書くことのできる一つの学習手段として提供する位置づけにあります。システムで配信するコンテンツについては、その内容に該当するPSを表示し、使い勝手がよく、役立つ内容を制作、提供していく予定です。



【図1】 クリニカルラダー



【図2】 Web版ポートフォリオ (ログイン後のトップページイメージ)



【図3】 Web版ポートフォリオ (「実践記録」画面イメージ)



【図4】 Web版ポートフォリオ (「PS登録」画面イメージ)

「JPALS」の概要

「JPALS」の概要は以下の通りです。薬剤師向けに構築したシステムであるため、学生の皆様は、クリニカルラダーに基づいたレベル昇格の仕組みについてはご利用いただけません。PSのチェック、ポートフォリオへの記録（学習計画、実践記録等）、e-ラーニングはご利用いただけますので、ご自身の学習状況の把握、計画、学習の一助としていただければ幸いです。

1. システム利用開始日：平成24年4月1日（日）

2. 対象：薬剤師国家資格を有する方および薬学生

3. システム利用料金、認定料

システム上で課金いたします。決済方法は、クレジットカード決済またはコンビニ決済となります。

1) ポートフォリオシステム

日本薬剤師会会員（薬学生会員も含む）…無料
上記会員でない薬剤師の方…10,000円（税別）/年
上記会員でない薬学生の方…2,000円（税別）/年

2) e-ラーニングシステム

日本薬剤師会会員（薬学生会員も含む）…当面無料
上記会員でない薬剤師の方・薬学生の方…コンテンツごとの課金

3) クリニカルラダーレベル5認定料

（過渡的認定の場合も同様）
日本薬剤師会会員…5,000円（税別）/回
上記会員でない薬剤師の方…20,000円（税別）/回

4. ご利用までの流れ

システム URL (<https://www.jpals.jp/>) へのアクセス
⇒新規ユーザ登録⇒ログインIDの交付⇒ID、パスワードを使ってログイン

5. ポートフォリオシステムのご利用の流れ

プレチェック

PSの全項目について、「学習した」または「学習していない」のチェックをすると、トップ画面のレーダーチャートに反映され、ご自身の学習状況が把握できます。



学習計画、実践

学習していないPSや、日常業務からヒントを得た内容などから学習計画を立てて入力します。入力した内容に沿って学習を実践します。



実践記録

計画に対する学習実践の内容（研修形態、学習日、学習内容、成果、今後の課題等）を記録します。本会

へのご提出分（6本以上）と、ご自身用に保存しておく分を分けて登録できます。



PSチェック

「学習していない」のチェックが入っているPSについては、実践後に「学習した」のチェックを入れて登録するとレーダーチャートに反映され、PS学習状況で学習状況の再確認ができます。

6. クリニカルラダーの仕組み

1) ポートフォリオの提出

1年間のポートフォリオの提出数が6本以上であることを基本とします。毎年3月に、年間6本以上のポートフォリオを本会に提出したことを条件に、各レベルへの昇格候補者をシステム上で自動抽出します。

2) Webテストの受験

各レベルへの昇格候補者は、Webテストを受験する資格が得られます。Webテストは、年1回、3月中旬～4月中旬に実施し、期間中、何度でも受験可能です。テスト問題は、各レベルに対応したPSの範囲の中から出題されます。合格した方は、各レベルに昇格します。

3) 審査会によるポートフォリオの内容審査

レベル4からレベル5への昇格時のみ、Webテストの他に、本会の審査会による、ポートフォリオの内容審査があります。合格すると、レベル5に昇格します。

4) 認定証の発行

レベル5のみ、本会会長名の認定証を発行、郵送いたします。簡易版（PDF）はシステム上でダウンロードが可能です。

7. e-ラーニングシステムのご利用の流れ

ポートフォリオシステムより、ご利用のお申し込みが可能です。コンテンツ一覧から、視聴したいコンテンツを選択し、視聴後、理解度確認テストを受けます。理解度確認テストの合格をもって「修了」となります。

e-ラーニングで学習した内容は、是非、ポートフォリオに記録し、該当するPSがあればチェックして下さい。

最後に

本会では、8年ほどの歳月をかけ、生涯学習支援を形にするため、生涯学習委員会を中心に検討を重ね、「JPALS」を構築しました。今後は、「JPALS」を一人でも多くの薬剤師、薬学生の皆様にご利用いただけるよう、利用者のご意見、ご要望を伺いながら、より良いシステムにしていきたいと考えております。本紙を手にとっていただきました薬学生の皆様も、それぞれに志を持って薬剤師になることを目指しておられることでしょう。夢が叶って薬剤師になられましたら、薬剤師人生一生分の学習記録を残すことを目指して、是非、本システムを活用し、スキルアップに取り組んでいただきますようお願いいたします。

世界の医療系学生が集結!!

World Healthcare Students' Symposium に行ってきました!!

武蔵野大学薬学部4年
齋藤良行

世界への挑戦!!

みなさんこんにちは、武蔵野大学薬学部4年の齋藤です。みなさんは薬学部での日常をどのように過ごしていますか？ もっと世界を知りたい、大学の授業だけでは物足りない!! そんな想いに駆られたことはありませんか？今回僕はそんな想いを胸に、世界の医療系学生が集うシンポジウムに参加してきました。

WHSS とは

World Healthcare Students' Symposium (以下WHSS) とは、IFMSA (国際医学生連盟)、IPSF (国際薬学生連盟) などの国際的医療系学生団体が協力して、2年に一度開催される世界中の全医療系学生が集う国際シンポジウムです。第4回目になる今回は昨年11月18日～23日(5泊6日間) チェコ(プラハ・カレル大学)にて開催され、世界45カ国から250名の学生が濃密な時間を過ごしました。

意識の高い世界の医療系学生達

シンポジウムでは、有名な先生方のご講演や、様々なトピックについてのワークショップなどを行いました。講演やワークショップの主なテーマは、patient safety、



講義風景

pharmacovigilance、医療倫理の問題などです。

patient safety の講義では、患者を中心にチーム医療をどう考えるかといった話を具体的な事例を用いて解説してくれました。どうしても医療事故はなくなるのか、患者を中心においたチーム医療とは何か、医療の質を向上させつつ業務の効率化を図るにはどうしたら良いのか、といったような講義をして頂きました。pharmacovigilance では服薬のコンプライ

アンスをどうしたら向上させることが出来るかといったことや、薬害はどうしたら防げるかといったような薬に関する講義が行われ、医療倫理のワークショップでは15歳未満の妊娠について、そういったことが起きた場合どうするか、防ぐにはどういった取り組みが必要か、または各国ではどのような性教育を行なっているか、といった内容のテーマを話し合いました。ワークショップでは非常に活発な議論になりました。

かけがえない絆

もちろん、毎日講義やワークショップというわけではなく、毎晩様々なテーマのPartyが開催され、交流を深めました。ロシア人の友人と北方領土について話したり、イギリス人の友人とイギリスの医療制度について議論したり、またエジプトの学生と「アラブの春」について話したりと、様々なことについて語り合いました。

日本にいて、自国の医療制度や医療事情だけを学ぶのではなく、視野を広く、世界のスタンダードや様々な取り組みを学び、吸収することで自国の問題点や特徴が見えてくると思います。今回のシンポジウムを通じて、改めて“医療は国境を超える”ということを実感しました。

最後に、授業や実習があるにもかかわらず、学生の国際活動を理解しご協力して下さった大学の

諸先生方、並びに機会を提供してくれた日本薬学生連盟の方々に御礼申し上げます。



ワークショップ風景



hospital partyにて



farewell partyにて

全国の薬学生集合!!

第13回 日本薬学生連盟年会“薬学生の集い”開催!!

2012年3月13日(火)～15日(木)、日本全国から300人以上の薬学生が東京に集結。様々なテーマのワークショップに加え、普段聞くことのできない先生のご講演など多数のイベントを開催します!!

詳細、申込みはHPをチェック!! <http://apsjapan.org/nenkai13.html>

「6年制課程卒業の薬剤師国家公務員」の初任給等が決定 —日薬・日病薬が共同で記者会見—



記者会見で質問に答える本会児玉会長(左)。右は日病薬堀内会長。

平成23年12月28日、平成24年4月に輩出される「6年制課程卒業の薬剤師国家公務員」に関する初任給等について、人事院規則の改正が行われました。今回の改正規則により、6年制課程を卒業した薬剤師の俸給は医療職俸給表(二)〔以下「医(二)」〕の2級15号俸(200,800円)とされ、これまでの4年制課程卒業の薬剤師〔医(二)の2級1号俸(178,200円)〕と比べて、高く評価されました。また、医(二)の在級期間表についても改められ、3級に昇格するための条件の一つである2級在級期間については、「5年」から「2年」に短縮されました。これも、生涯賃金の上昇という

点で、大変大きな意味を持つものです。

現状、医(二)の俸給表が適用される薬剤師国家公務員は、全国で百数十名程度です。しかし、民間病院においても、薬剤師初任給等の決定に際しては、本俸給表を参考とするケースが多く、実際にはその影響は大きいものがあります。

本会は、日本病院薬剤師会と連携して、6年制課程を卒業した薬剤師については、教育期間が単に2年間延長されたということではなく、事前学習を含めた約6ヵ月間の実務実習を経て、医療の担い手として高度な教育を受けた者として評価するよう、これまで重ねて関係方面に要望してきました。今回の改正は、そうした努力が結実したものとと言えます。

なお、今回の改正を受け、本会及び日本病院薬剤師会は、平成24年1月6日、四谷の本会会議室にて共同で記者会見を行い、声明を公表しました。記者会見で、本会児玉会長は、「国から高い評価を頂いたが、それにふさわしい働きを提供していかななくてはならない。本会として

□ 医療職俸給表(二) ※抜粋

職員 の 区分	職務 の 級 号俸	1級	2級	3級
		俸給月額	俸給月額	俸給月額
再任用職員以外の職員	1	140,300	178,200	213,600
	2	141,700	179,800	215,200
	3	143,100	181,400	216,800
	4	144,500	183,000	218,400
	5	145,700	184,500	220,000
	6	147,500	186,100	221,700
	7	149,200	187,700	223,400
	8	150,900	189,300	225,100
	9	152,600	190,900	226,800
	10	154,300	192,600	228,600
	11	156,000	194,300	230,400
	12	157,800	196,000	232,100
	13	159,300	197,600	233,900
	14	161,200	199,200	235,500
	15	163,200	200,800	237,100
	16	165,100	202,400	238,700
	17	167,000	204,000	240,100
	18	168,900	205,700	241,700
	19	170,800	207,400	243,200
	20	172,700	209,100	244,800
⋮	⋮	⋮	⋮	

は今後、薬剤師のスキルアップのため、生涯学習の一層の充実等に努めたい。」などと抱負を述べました。

本会においては、今後も、旧4年制を含め、薬剤師全体の処遇向上等を目指し、引き続き関係諸機関に働きかけを行うことを予定しています。

このように本会は、薬剤師の地位向上及び国民の厚生福祉の増進につながる諸活動に、日々尽力しています。これをお読みの薬学生の皆様も、晴れて薬剤師になられた暁には、是非本会に入会し、本会の活動にご協力いただければと思います。

文科省

「薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会」がカリキュラム改訂に向けた議論を本格化

文科省内に、「薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会」(座長:市川 武庫川女子大学薬学部長。本会からは森常務理事が委員として参画)が設置され、第1回委員会(平成23年9月2日)以降、継続的に薬学教育モデル・コアカリキュラム(以下「カリキュラム」)の改訂について、協議を実施しています。

本委員会は、同省内に薬学教育全般の協議を目的に設置された「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」において、従来からカリキュラムの見直しを求め意見が出されていたことなどを受け、カリキュラム改訂に関する恒常的な組織として設置されたものです。本委員会では、

カリキュラムの学生への教育効果の検証、カリキュラムの評価をはじめ、カリキュラム改訂全般に関わる事項を所管することとされています。

本稿執筆時において、本委員会は第5回(平成24年1月17日)まで開催されており、1)日本薬学会の作成した「薬学教育モデル・コアカリキュラム」及び文科省の作成した「実務実習モデル・コアカリキュラム」を一本化する(表現や観点などを揃える)こと、2)その内容については6年制薬学教育を対象とすること、について合意が得られ、前出の「薬学系人材養



平成24年1月17日に開催された第5回委員会の様子

成の在り方に関する検討会」においてもその方向性は了承を得ています。更に本委員会において「薬剤師として求められる基本的な資質(たたき台)」を策定し、それに基づいて薬学教育モデル・コアカリキュラムを見直すという改訂の方針を検討しています。

なお、新カリキュラムの完成時期及び新カリキュラムによる教育の開始時期は現状未定で、今後検討予定です。